

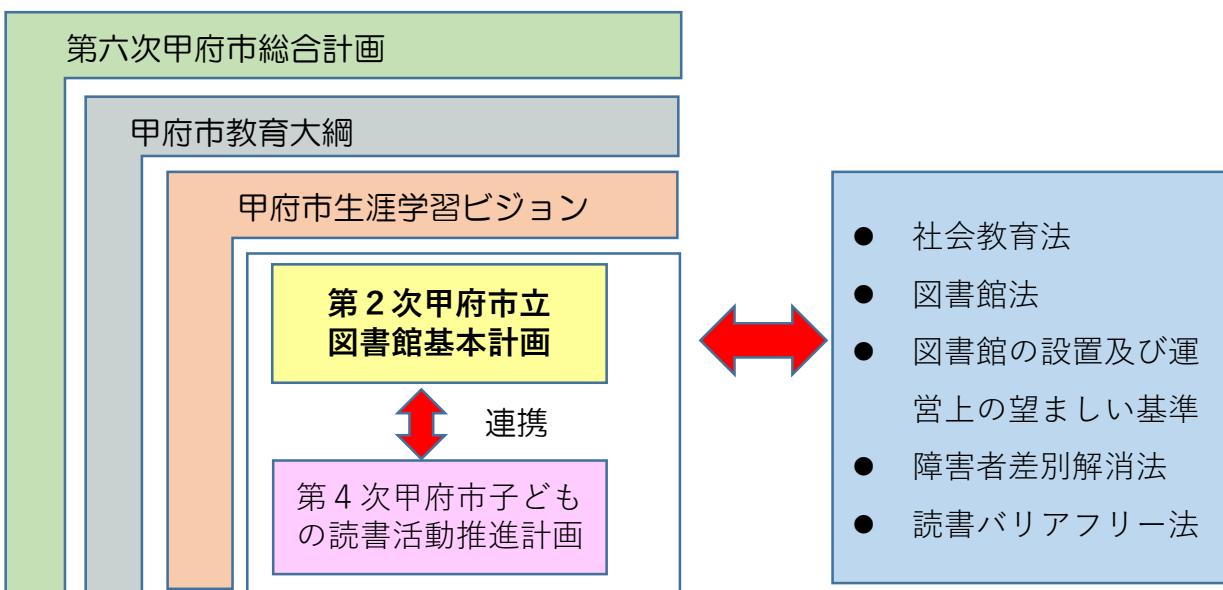
# 第2次甲府市立図書館基本計画 骨子(素案)

1. 地域における「知の拠点」
2. 一本と触れ合い、人と人を結ぶ

## 計画策定の背景・目的

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、休館や利用制限により来館者が減少したため利用実績が伸び悩んだ。また、イベントを休止したことにより再開後の集客率が減少している。
- ・甲府市立図書館基本計画の計画期間（R2～R6年度）終了に伴い、これまでの方針や課題を検証するとともに、基本的な計画の考え方を継承する中で、少子高齢化に伴う人口減少などの社会的背景を鑑み、今後の甲府市立図書館の目指すべき運営方針や経営ビジョンを示す。
- ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」が施行され、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられる社会を目指すこととなった。

## 計画の位置づけ



## 図書館サービスの概要

- ① 移動図書館「なでしこ号」によるステーションの巡回や地域文庫等への団体貸出の実施
- ② 北・西・南・中道公民館図書室とのネットワーク化
- ③ 子どもの読書活動推進を図るためにブックスタート事業、「おはなしキャラバン」活動
- ④ ボランティア団体と協働して行う読み聞かせ等のイベントや講演会の開催
- ⑤ インターネット等による本の予約・リクエストサービスの実施
- ⑥ レファレンスサービスの実施
- ⑦ 電子書籍サービスの実施

## 第1次計画の検証

### 1.基本サービスの充実

- ・利用者ニーズの対応については、施設の老朽化への計画的な対応等が必要となってきている。
- ・広域サービスとして公民館図書室への司書の派遣による支援を行うとともに、なでしこ号の定期運行を計画通り実施したことにより一定のサービスを維持してきたが、今後、北・西公民館以外のネットワーク接続済公民館へ司書の派遣や、なでしこ号のステーションの見直しと活用方法及び老朽化に伴う有り方を検討していく必要がある。
- ・アクセシビリティの向上については、電子書籍サービスを新たに導入したことにより利便性を高めることができた。今後は読書バリアフリーに対応した読み上げ機能や文字拡大機能などのコンテンツの充実など合理的配慮に取り組む必要がある。

### 2.子どもの読書活動を推進

- ・第3次子どもの読書活動推進計画を推進する中で、「読書記録ノート」や「マイブックメモリー」により子どもたちが目で見える形で読書履歴を残すことができたほか、小中学校と連携を図る中で、1人1台端末から電子書籍が利用できるように読書環境の整備を図り電子書籍の閲覧数等が伸びるなどの効果がみられた。引き続き子どもと読書を結びつけるため、新たな方策の調査研究が必要となっている。

### 3.社会教育施設の機能にコミット

- ・多様な学習機会の提供については、高齢者の観点に立った図書資料の収集、電子書籍サービスにおいて特集の企画、大人の映画会等のイベントを開催したことで高齢者の居場所づくりに繋がったことから、高齢者に限らず利用者の自主的な学びを支援するため、講演会や講座等を充実させる必要がある。
- ・利用者の自主的な学び・調査・研究を支援するため、レファレンスサービスの充実に向けてレファレンス機能を強化する必要がある。

### 4.未来志向のサービスを構築

- ・図書館運営の持続可能な将来を見据える中で、資料の電子化やICタグ等の先進技術の活用について、引き続き費用対効果を考慮する中で検討する必要がある。
- ・電子書籍サービスを導入したことにより新たな生活様式や読書バリアフリーに対応し、24時間いつでもどこでも読書ができる環境を整備したことにより、利便性が向上した。

## 今後の主な課題

○図書館基本計画の各施策を推進する中で、引き続き利用者の知的要求に応えるため図書館の情報資源である蔵書等の充実にも努めるなど魅力ある図書館運営を図る。

### 1.基本サービスの充実

- ・施設の老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進
- ・広域サービスの更なる充実についての検討（公民館図書室へ司書の派遣及びなでしこ号の老朽化への対応等）
- ・アクセシビリティの向上（読書バリアフリーへの対応）

### 2.子どもの読書活動を推進

- ・子どもの読書活動を推進するための効果的な方策の検討

### 3.社会教育施設の機能にコミット

- ・利用者の自主的な学びを支援するため、講演会、講座等の充実
- ・利用者の自主的な学び・調査・研究を支援するため、レファレンスサービスの充実

### 4.未来志向のサービスを構築

- ・地域の貴重な歴史資料を次世代に伝えるため、資料の電子化への取組
- ・ICタグ等の先進技術の活用に向けた検討

## 基本理念

- ・市民の自主的な学習を支援するとともに、次世代を担う子どもたちをはじめとする全ての市民の豊かな読書活動の拠点として、図書館サービスの着実な推進と、時代に即した図書館運営を図る。
- ・市民の多様化するニーズに応えるとともに、地域が抱える様々な課題解決に繋げるための情報を保存・管理し提供を行うほか、これまで集積してきた郷土の歴史資料等を未来につなぐ。

## 計画期間

令和7年4月 から 令和12年3月（5年間）

## 基本方針・施策・取組



### 1 基本サービスの充実を図ります。

- (1) 利用者ニーズへの対応
  - ア 利用者ニーズに応える資料等の収集・提供
  - イ 地域資料及び甲府市出身者などの資料収集
  - ウ 情報サービス環境の整備
  - エ 専門職としてのスキルアップ
  - オ 老朽化への対応とユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 広域サービスの実践
  - ア 公民館図書室の活用
  - イ なでしこ号の活用
- (3) アクセシビリティの向上
  - ア 合理的配慮
  - イ 専門資料の整備
- (4) 利用教育の推進
  - ア 積極的な情報発信
  - イ 情報リテラシーの向上



### 2 子どもの読書活動を推進します。

- (1) 第4次子どもの読書活動推進計画の着実な推進
  - ア 発達段階に応じたサービス
  - イ 読書意欲の向上
- (2) 子どもの居場所づくり
  - ア 地域文庫の活性化
  - イ 放課後児童クラブへの貸出等



### 3 社会教育活動の充実を図ります。

- (1) 多様な学習機会の提供
  - ア 講演会・講座等の充実
- (2) ボランティア活動等の促進
  - ア ボランティア等との協働
- (3) 地域の課題解決支援
  - ア テーマ別資料の収集・展示
  - イ レファレンスサービスの充実



### 4 未来志向のサービスを構築します。

- (1) デジタル情報資源の活用
  - ア オンライン・データベースの活用
- (2) 資料の電子化
  - ア デジタルアーカイブ
- (3) 先進技術の活用
  - ア 情報媒体（ICカード等）
  - イ 通信技術（無線通信等）

## 計画の推進体制と進捗管理

- ・図書館職員と各種ボランティア団体等との連携協働による事業の充実を図る。
- ・甲府市立図書館協議会において、毎年PDCAサイクルにより施策の評価・検証を行うとともに、施策の達成状況を把握しながら進捗管理を行う。また、5年後には社会情勢や各施策の取り組み状況、効果などを検証し計画全体の見直しを行う。